

令和6年10月1日

お知らせ

課名	農産課
担当	松岡、村瀬
内線	3832
直通	086-226-7421

第71回（令和6年度）矢野賞受賞者3名が決定しました

公益財団法人矢野恒太記念会が岡山県内の優秀な青年農業者を表彰する矢野賞について、令和6年度の受賞者が決まりましたので、お知らせします。

記

1 矢野賞受賞者

氏名	住所	年齢	経営部門
たけばやし ひでとし 竹林 秀敏	岡山市南区藤田	39	米麦、野菜
こみやま ひろゆき 小見山 裕之	倉敷市船穂町船穂	37	果樹
かたぬま けいすけ 片沼 慶介	真庭市上水田	37	果樹

※年齢は令和6年4月1日現在、経営の概要は裏面を参照

2 選考基準

県内において農業に従事している45歳未満の青年農業者で、技術水準の高さやイノベーション等により、経営基盤を確立するとともに、青年農業者グループ等の活動に積極的に参画し、地域農業・農村の活性化や発展に努めている者

3 贈呈式

- 日時：令和6年11月1日（金）11:00～
- 場所：第一生命本館6階大会議室（東京都千代田区有楽町1-13-1）
- 主催：公益財団法人矢野恒太記念会
- 出席予定者：受賞者及び配偶者、岡山県関係者、矢野恒太記念会関係者他

（参考）矢野賞について

郷土出身（岡山市東区竹原）で第一生命保険株式会社創立者である矢野恒太氏（1866～1951年）の業績を顕彰するため昭和28年3月に「財団法人矢野恒太記念会」が設立され、その事業の一つとして「矢野賞」を設け、県内の優秀な青年農業者を表彰してきた。昭和29年に第1回目の表彰が行われて以来、これまでに70回、230名が受賞している。

なお、令和6年度から他産業従事後の就農者等の受賞機会の拡大を図るため、年齢要件をこれまでの40歳未満から45歳未満に見直している。

第71回（令和6年度）矢野賞受賞者の概要

たけばやし ひでとし
竹林 秀敏 (39歳)
岡山市南区藤田



経営内容：米麦・野菜

（水稲 16ha、大麦 10ha、たまねぎ 4ha、かぼちゃ 1ha）

大学を卒業後、民間企業勤務を経て、平成22年に水稲農家として新規参入し、就農9年目に(株)丸秀ファームを設立した。

積極的にスマート農機を導入することで、米麦とたまねぎを組み合わせた二毛作体系を実践し、特に、たまねぎ栽培では産地最大の生産規模を確立している。令和2年には、歴代最年少でJA岡山藤田たまねぎ部会の部会長に就任し、産地振興に尽力している。

青年農業者クラブ活動では、単位クラブや地方協議会、県協議会の役員を歴任し、地域農業を牽引している。

地域では、小学生への食農教育や農福連携に注力しており、農村の維持発展に大きく貢献している。

こみやま ひろゆき
小見山 裕之 (37歳)
倉敷市船穂町船穂



経営内容：果樹

（ぶどう 0.7ha）

高校を卒業後、民間企業勤務を経て、平成26年にハウスぶどう栽培で親元就農した。就農と同時にシャインマスカットの早期加温による6月出荷に挑戦し、品種と作型を組み合わせた規模拡大を進め、経営の安定化を実現している。

また、房形向上技術の研鑽や地域初となるCO₂の局所施用など新技术を積極的に取り入れ、県内トップクラスの高品質生産を実現している。

青年農業者クラブ活動では、単位クラブや地方協議会の役員を務め、若手生産者の中心的人物となっている。

地域では、就農アドバイザーとして新規就農者10名の育成に尽力するなど、地域農業の維持・発展に重要な役割を果たしている。

かたぬま けいすけ
片沼 慶介 (37歳)
真庭市上水田



経営内容：果樹

（ぶどう 0.5ha）

大学を卒業後、民間企業勤務を経て、祖父のぶどう栽培を継承し、平成26年に就農した。計画的にシャインマスカットやオーロラブラックを導入し、品種の組合せにより規模拡大を実現した。特に、シャインマスカットの徹底した管理技術により秀品率は80%を超え、ぶどう部会でもトップクラスを誇っている。

青年農業者クラブ活動では、地方協議会の会長を務め、県内で初めてぶどうせん定枝のバイオ炭製造に取り組むなど、産地の新たな取組にも挑んでいる。

地域では、2年間の準備期間を経てJA支部に若手ぶどう生産者の交流の場となる「青年部」を立ち上げ、初代会長として積極的な活動を牽引し、産地活性化に貢献している。